とだ 議会だより

わたしがつなぐ、戸田の未来。
50th
・戸田市・
市制施行50周年

やさしいまちに、なりたい。
TODA

9月定例会
No.193
2016年（平成28年）11月1日

市税収入　3億5千万円増
平成27年度一般会計決算を認定 ▶ 2

17年ぶり 下水道使用料改定 ▶ 5

児童・乳幼児の議会傍聴が可能に ▶ 8

市制施行50周年記念全国市町村交流レガッタ戸田大会（戸田ボートコース）

▶ホームページ　戸田市議会　検索　▶▶　http://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/

市税収入 3億5千万円増

平成27年度一般会計決算を認定

平成28年
9月定例会
8月25日～9月27日

9月定例会は8月25日から9月27日までの34日間の会期で開かれ、提出された43件の決算・議案等を、いずれも認定・可決・承認しました。本会議では、4議案に対し延べ9人の議員が質疑をし、決算及び議案、各1件に対し4人の議員が討論を行いました。

また、4日間にわたる一般質問では、16人の議員が活発な論戦を展開しました。最終日には、議員提出議案として意見書2件が提案され、可決をしました。

主な議案等

27年度一般会計決算

歳入について、前年度（平成26年度）決算額との比較では、約16億1千万円の減。地方消費税交付金が約8億2千万円、国庫支出金及び市税が約3億5千万円の増となった一方で、市債が約23億5千万円、繰入金が約10億5千万円の減。市税の内訳では市民税が約2億5千万円の増となっています。

歳出について、前年度との比較では、約20億4千万円の減。歳出のうち、民生費が45・2％、土木費が11・9％、総務費が11・8％、教育費が10・5％となっています。支出科目のうち、工事請負費については上戸田福祉センター再整備工事、市内3駅の自転車駐車場改修等工事などで約32億7千万円、前年度と比較すると約31億5千万円の大幅減。また、公有財産購入費は、（仮称）1号公園用地や新曽中央地区都市整備事業用地の土地購入費など合計約11億5千万円となっており、前年度と比較すると約5億7千万円の大幅増となっています。

歳入歳出差引残額、約22億円は、全額、平成28年度に繰り越しました。

※27年度一般会計決算に対する討論は、4ページに掲載しています。

27年度 健全化判断比率

比率名	27年度	26年度
実質赤字比率	ー（11.92）	ー（11.94）
連結実質赤字比率	ー（16.92）	ー（16.94）
実質公債費比率	3.7（25.0）	3.6（25.0）
将来負担比率	54.9（350.0）	57.1（350.0）

単位％

（注）①（　）は早期健全化基準※を示す。
②赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「ー」表示となります。

◆健全化判断比率とは
自治体の財政状況を早期に把握し、破たんを防ぐことをねらいとして制定されたものです。

※早期健全化基準……財政状況が悪化した場合において、自主的・計画的に財政の健全化を図るべき基準として定められた数値です。

平成27年度決算を認定

※千円単位は四捨五入

			前年度比
平成27年度 一般会計	歳入（1年間の収入）	505億6113万円	3.1％減
	歳出（1年間の支出）	483億5624万円	4.0％減
平成27年度 特別会計	歳入	271億2928万円	14.7％増
	歳出	260億5268万円	15.0％増

（注）特別会計は12会計の合計額

水道事業会計

収益的収入	24億8895万円
収益的支出	22億2813万円
資本的収入	3512万円
資本的支出	9億481万円

下水道事業会計

収益的収入	26億858万円
収益的支出	26億7113万円
資本的収入	10億6161万円
資本的支出	17億9838万円

「平成27年度決算 監査報告」

小川 代表監査委員

一般会計について、実質収支額は約20億7693万円の黒字となっている。歳入は、前年度と比べ約16億1181万円の減。歳入の根幹である市税については、市たばこ税以外の全てにおいて前年度と比べて増となっている。歳出は、前年度と比べて約20億3536万円の減。支出増となった主なものは、諸支出金、教育費、衛生費。支出減となった主なものは、民生費、消防費、総務費となっている。

特別会計については、実質収支額は約10億149万円の黒字となっている。

水道事業会計については、収益的収支の純利益は前年度と比べて約1億7443万円の増。資本的収支については約8億6968万円の不足となっており、損益勘定留保資金などで補填されている。固定資産対長期資本比率が101・05％になっており、水道事業会計と同様、今後の動向に注意が必要である。経営指標では、年度末における処理区域面積は前年度と比較して0・9％、水洗化人口は2・8％の増加となっており、水洗化率は88・0％で増加傾向となっている。下水道事業会計においては、企業債未償還残高に係る支払利息について、総費用に占める割合が7・9％、使用料収入に対する割合が21・1％と高い値となっており、企業債への依存の高さを表している。下水道事業会計における将来への負担のあり方を含めた課題と捉えるべきである。

一般会計について、実質収支額は約20億7693万円の黒字となっている。歳入は、前年度と比べ約16億1181万円の減。歳入の根幹である市税については、市たばこ税以外の全てにおいて前年度と比べて増となっている。歳出は、前年度と比べて約20億3536万円の減。支出増となった主なものは、諸支出金、教育費、衛生費。支出減となった主なものは、民生費、消防費、総務費となっている。

特別会計については、実質収支額は約10億149万円の黒字となっている。

水道事業会計については、収益的収支の純利益は前年度と比べて約1億7443万円の増。資本的収支については約8億6968万円の不足となっており、損益勘定留保資金などで補填されている。固定資産対長期資本比率が98・02％となっており、この比率が100％を超えることは、固定資産の一部が一時借入金等の流動負債によって調達されていることを意味する。本市の場合、率が上昇していることから、今後の動向に注意が必要である。水道事業の経営指標でもある有収率は92・9％で前年度と比較して0・6ポイント上がっており、いまだ高い水準を維持している。

下水道事業会計については、収益的収支の純損失が約6254万円、計上されている。資本的収支については約7億3676万円の不足となっており、損

反対討論

花井 伸子 議員

使用料引き上げやサービス削減は必要なかった

平成27年度決算・歳入の特徴として、市税収入は当初予算額と比較すると約11億3千万円も上回り、顕著な伸びが示された。市はこの間、「財政が厳しい」と言うが、財政力指数は県内断トツである。市民生活はどんどんと厳しさを増している。

▲上戸田地域交流センター「あいパル」

戸田市の豊かな財政力は、市民の暮らしにしっかりと生かすべきであった。

議員の海外派遣旅費について、27年度は6人の議員が中国開封市に行ったが、予算時には行く先も目的も決まっておらず、派遣議員が決まってからも行程も出されないまま議会での承認が求められるという、他には例のないものであった。

財政調整基金は標準財政規模の10％が適正と言われている。戸田市の標準財政規模は約277億円。平成27年度末基金残高、約39億円は積み過ぎである。

27年9月に開館した上戸田地域交流センターは、利用料の引き下げと、社会教育団体への利用料免除を復活させるべき。

公共性の高い自転車駐車場の管理運営は指定管理者から市直営に戻し、登録料の引き下げを求める。

平成27年度、使用料・手数料の値上げによる市民負担増は約1億5千万円、前年比28・5％増。一方で基金に26億円も積み増しし、なおかつ22億円も余るという状況であった。27年度の実質収支比率は8・7で、基準とされる3～5を大きく上回っている。市民の暮らしに生かせる財政を、使い残しているといえる。数々の使用料・手数料の引き上げや、敬老祝金や不妊治療費助成金、在宅要介護高齢者介護支援金等の削減は必要なかったと考え反対する。

賛成討論

細田 昌孝 議員

適正な財政調整基金残高の維持が不可欠

海外派遣事業は、戸田市議会として、開封市またはリバプール市に、友好・姉妹都市訪問団を派遣し、交流を通じて、さらなる相互理解と友好関係の促進を図るための事業であり、その旨を明確にした上で予算措置をして、実施したものである。

議員の派遣を決定するに当たって行程表の提示を求めているが、行程表は、突然のアクシデントなどにより、急遽、変更を余儀なくされる場合も十分に想定されることから、議決事項に加えることは、なじまない。

敬老祝金及び在宅要介護高齢者介護支援金は、平成26年12月議会で議論を重ね議決したものであり、財政状況が厳しい中、安定的な事業を継続するために必要な削減であった。

上戸田地域交流センターの施設利用料は、施設利用者にその受益に対する相応の費用負担を求めており、妥当であると考える。

不妊治療費助成事業は、申請件数の増加は今後も予測されており、必要な見直しであった。

自転車駐車場の新利用料金、また、指定管理者についても、いずれも、可決案どおりに事業が実施されている。

財政調整基金費について、本市の類似団体85市における標準財政規模に対する財政調整基金残高の割合は、平均で16・4％。これを本市に当てはめれば、約45億円。したがって、本市の平成27年度末の財政調整基金残高、約38億4千万円は平均を下回っており、決して過剰なレベルにあるわけではない。市税が減収になった場合や災害時等における影響を抑制し、市民サービスの継続を図るためには、適正な財政調整基金残高の維持が不可欠である。

《結果》認定（20対3）

27年度国民健康保険特別会計決算

《結果》認定（20対3）

※介護保険料のあり方について意見が分かれました。

27年度介護保険特別会計決算

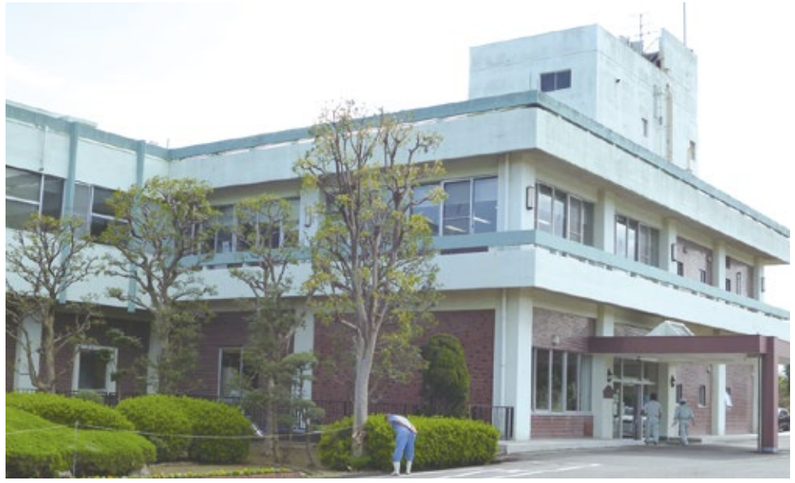
《結果》認定（20対3）

※国保税の課税限度額引き上げに賛否両論がありました。

17年ぶり 下水道使用料改定

下水道条例の一部改正

市民生活に不可欠なインフラである下水道事業を将来にわたり持続できるよう財源確保を図るため、平均30％の下水道使用料の改定を行いたく改正を行うもので、実施は平成29年4月1日からです。



▲荒川水循環センター（下水道終末処理場）

反対討論

本田 哲 議員

戸田市の豊かな財政を暮らしに生かせ

戸田市は公営企業法の適用で公費負担を受けず独立採算を実現することを根拠に、下水道使用料を30％値上げし、約3億円の負担増を行おうとしている。日本共産党は、公営企業法の適用を行う条例改正において、使用料の大幅値上げにつながるとして、強く反対をしてきた。

下水道法において規定する公共的な目的を市が引き続き担っていくことは重要であり、そのための管路施設やポンプ場の更新、災害対応に公費を充てることは当然である。また、雨水は公費負担が原則であり、「浸水対策」を値上げの理由に挙げるのはおかしい。

市は、この値上げを行っても、県内で、まだ一番安い料金であると説明しているが、この間、介護保険料の値上げ、保育料の値上げなど、市民生活に負担を増やしてきており、さらなる市民負担増となる下水道利用料値上げを認めることはできない。戸田市の豊かな財政を暮らしに生かす事業実施を強く求め、反対討論とする。

賛成討論

真木 大輔 議員

本市下水道事業の課題解決に必要な改定

この改定案により、一般家庭における月額の下水道使用料は、税込み777円から税込み1004円となるが、依然として県内や東京23区で最も安い。戸田市では、国の法令等が示す「独立採算制の原則」「雨水公費・汚水私費の原則」に従い、汚水処理に係る事業費を下水道使用料収入から賄えるよう使用料改定を実施してきたが、なお一般会計からの補填（ほてん）は続いた。このたびの使用料改定により、ようやく独立採算制が実現し、問題であった下水道未整備地区の住民との負担の不公平は解消される。

また、下水道事業には、災害の備えにもなる建設改良積立金がなく、企業債残高は約87億円にまで膨らんでいる。このたびの使用料改定によって、一般会計からの赤字補填（ほてん）は解消され、建設改良積立金は10年後に約18億円となる。企業債残高の抑制、未整備地区への整備や、施設改築更新の財源確保も進み、世代間負担の公平性が保たれる。

本案は、本市下水道事業の課題を解決し、市民の生活や安全を将来にわたって守るための必要かつ妥当な改定であると考え、賛成討論とする。

《結果》原案可決（20対3）

総務常任委員会
文教・建設常任委員会
健康福祉常任委員会
市民生活常任委員会

委員会の審査から

こんな質問、あんな意見もありました。

議案や決算、請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。
その経過と結果は、9月27日の本会議で各委員長から報告がありました。
下記はその概要です。

総務

政策秘書室・総務部・財務部・会計課・行政委員会事務局等
※各常任委員会の所管部署

工事を発注する際は、費用を抑えるための十分な検討を

【27年度決算】

財政管理費では、「なるほど！わかった！戸田市の財政」の内容に関し、競艇収入の現状等以外に、市民税や固定資産税等が、税収を支えていることも市民に理解してもらうべきとの意見がありました。

IT推進費では、公共施設予約システムの改善に関し、執行部より、電話予約への対応等を求める意見があるが、現在のシステムで対応するには多額の改修費がかかるため、次期のシステムを導入する際に検討したいとの答弁がありました。

【戸田競艇組合規約の変更】

戸田競艇組合の会計が企業会計に移行することに伴う配分金への影響に関し、執行部より、配分金は主に売り上げの動向に左右されるものであり、会計制度の変更で配分金がなくなることはないとの説明がありました。

▶上戸田福祉センターと上戸田保育園の跡地が再整備されます

【上戸田地域交流広場整備工事請負契約】

既存建物の解体と、広場等の整備を一括発注した経緯に関し、執行部より、戸田市公共調達審査委員会で検討を行ったとの説明があり、委員から、発注の際は、費用を抑えるための十分な検討を求める意見がありました。

文教・建設

都市整備部
教育委員会

学校、教育委員会で連携し いじめ問題への取り組みを

【27年度決算】

教育指導費では、児童生徒の授業の理解度等を調査するアンケート結果について、理解度が低いと回答した児童生徒に対して、どのような対応を行っているのかという質疑があり、執行部から、とだっ子学習クラブ等で補習授業を行ったり、市の非常勤職員がマンツーマンで指導を行ったりするなどして対応しており、効果も表れているが、理解度が低い児童生徒に対しては、今後、さらに手厚くサポートしていきたいとの答弁がありました。

教育センター費では、平成27年度は教育センターへのいじめの相談がなかったことに対し質疑があり、執行部から、各学校で早期発見、早期対応したことで、相談件数が減ったと考えている。いじめの報告は上がっているが、学校が早期に対応しているとの答弁がありました。

▶教育センター

これに対し、戸田市では全国が注目するさまざまな先進的な取り組みを行うなど、学校の先生の負担が増す中で、さらに児童生徒と接する時間を増やして、いじめ等の対応をしているということではあるが、学校だけで全てのいじめを把握し対応することは難しいことである。学校の先生が現場で対応しながら、教育委員会と協力し、全体的な視点で児童生徒の状況を見てもらいたいとの要望がありました。

健康福祉

福祉部・こども青少年部
福祉事務所
市民医療センター

保険給付費削減のための データヘルスの取り組みを

【27年度決算】

児童福祉運営費では、こどもの国の指定管理料における約2700万円の収支差額について質疑があり、執行部から、指定管理者選定委員会において、東京都内の同規模の児童センターを参考に指定管理料の算定を行ったものの、地域差、ランニングコストがつかみにくい面があったためとの答弁がありました。

委員からは、適正な指定管理料を把握するノウハウを磨き、平成29年度の指定管理料に反映させてほしいとの要望があり、執行部から、指定管理者と話し合いを行い、検討するとの答弁がありました。

【国民健康保険特別会計決算】

保険給付費では、費用削減のためのデータヘルスの取り組みについて質疑があり、執行部から、糖尿病性腎症の重症化を予防するための保健指導の取り組みによる費用削減効果やジェネリック医薬品使用促進通知の成果などについて答弁がありました。

▶ジェネリック医薬品使用促進通知

市民生活

市民生活部・環境経済部
消防本部
上下水道部

駅前周辺における 放置自転車撤去の徹底を

【27年度決算】

環境衛生費では、喫煙制限区域巡回啓発員業務について、放置自転車の撤去業務も駅前周辺を巡回するので、業務を統合した方が効率的ではないかとの質疑があり、執行部から、関係部署との調整が必要であるが、より効果的な方法を検討したいとの答弁がありました。

観光費では、市の魅力PR冊子「るるぶ特別編集 戸田」について、需要が多いのであれば、定期的に作成し、市をPRしてほしいとの意見がありました。

交通安全対策費では、放置自転車の撤去業務について、毎日撤去していれば駅前周辺の放置自転車はなくなるはずなので、徹底して撤去を行ってほしいとの意見がありました。

体育総務費では、委員会として、市から世界大会に出場する選手の奨励等、支援策の検討を望むことで意見の一致を見ました。

【下水道条例の一部改正】

使用料改定による増収額が一般会計から補填している額よりも多くなる点について質疑があり、執行部から、単年度の損益ではなく、今後の下水道施設の更新等には莫大な費用が必要で、そのための積立金等を見込んでいるとの答弁がありました。

▶駅前周辺での自転車等の放置は禁止です

議会モニター募集

本会議や委員会を傍聴したり、議会だよりや議会ホームページをご覧いただいて、意見や提言の提出などをしていただきます。

【応募資格】次の①②の要件を満たしている方
①18歳以上の市内在住・在勤・在学している方
（ただし、公務員は除く）
②議会の仕組みとその運営、市政や地域社会の発展に関心のある方

【募集人数】 15人以内

【任　　期】 平成29年2月6日から1年間
※報酬なし（図書カード進呈）

【募集期間】 平成28年10月11日（火）～12月14日（水）

【申し込み】
「応募票」に住所、氏名、年齢、性別、職業、応募理由、自己アピール等を記入して、議会事務局へ直接持参、郵送、FAX、電子メールで応募してください。応募票は議会事務局で配布しています。ホームページからダウンロードもできます。
※議会事務局の住所、FAX、電子メール、ホームページは、20ページの欄外をご覧ください。

【選考方法】
書類選考の上、決定し、結果は応募者全員へ通知します。

意見書（議員提出議案）を国・政府に提出

◇返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書

現行の国の奨学金制度利用者は平成28年度、大学生らの約4割に当たる132万人と増加傾向にある一方、非正規雇用などによって卒業後の収入が安定せず、奨学金の返済に悩む人が少なくない。学生が安心して勉学に励めるよう、返済不要の「給付型奨学金」の創設や無利子奨学金の拡充など、4点を政府に求めるものです。

◇障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

多くの障害児者の家族は、社会からの孤立と家族依存、老障介護等の現実の中で、生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を切実に望んでいる。障害児者が「暮らしの場」を選択できるよう、グループホームや入所・通所施設などの社会資源を拡充し福祉人材の確保をすることなど、3点を国に要望するものです。

児童・乳幼児の議会傍聴ができるようになりました

戸田市議会では、議会改革特別委員会で「本会議及び委員会における児童・乳幼児の傍聴」について協議を重ねた結果、これを認めることとし、9月定例会から実施しています。

9月定例会の本会議（一般質問）では、乳児連れのお母さんの傍聴が1組ありました。

傍聴に当たっては、

本会議・委員会共通

■児童・乳幼児についても、1人1枚の傍聴人受付簿を書いてください。（保護者による代筆も可。児童だけの傍聴も可。）

■傍聴席を使用する場合（ベビーカーも含む）は、児童・乳幼児も傍聴人数に数えます。だっこするなど傍聴席を使用しない場合は数えません。

■ベビーカーについては車いすと同様に取り扱います。

※会議の妨げになると判断したときは、速やかに退室していただくことがあります。また、再入室するときは、係員の確認を受けてください。

本会議のみ

■最前列の手すりが低いことから、児童・乳幼児は、傍聴席の前列に座らないでください。

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。
今定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の大要で、質問者本人が執筆しております。
なお、一般質問の模様は、議会ホームページからご覧いただくことができます。

そこがききたい

犬・猫

公園内のふん・尿対策を

「委託業者が清掃を毎日実施」

熊木 照明 議員

議員　こ数年来、ペットブームが続いている。飼い主が飼えなくなり野良犬・野良猫状態になった犬・猫が多い中、市内公園に犬や猫のふん・尿が多く、利用者が困惑しているが、特に後谷公園の管理方法は。さらに今後の対策について伺う。

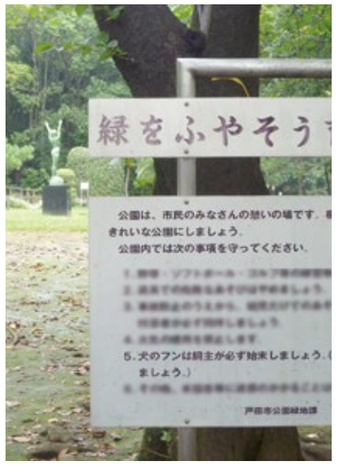
環境経済部長　委託業者により園内清掃を毎日実施している。今後の対策として、マナー啓発看板を設置しマナーアップを図っていく。

議員　市内公園砂場に猫の侵入対策で柵を設置しているが、効果がないように感じる。今後の対策を伺う。

環境経済部長　砂場全体をカバーするシートやローラー付きの柵などの設置を考えている。

議員　道満グリーンパーク駐車場には猫のふん・尿が多いが対策は。

環境経済部長　市民と協働し、毎日清掃、置き餌禁止の啓発活動を行っている。



▲後谷公園の芝生広場

ムクドリ被害軽減対策

議員　街路樹や電線などをねぐらにしているムクドリの鳴き声騒音や、歩道などに落ちた羽根やふんの悪臭など被害が非常に多いが、被害軽減対策を伺う。

環境経済部長　群れをなす場所の樹木を一部剪定することや電線・電柱は東京電力に協力要請する。

都市整備部長　道路に落ちたふんなどは、状況により道路清掃を実施する。

防災・減災対策

マンション等を緊急避難所として連携を

「マンション住民と協議していく」

峯岸 義雄 議員

議員 防災・減災の観点から自主防災会に対して、市はどのような支援を行っているのか。

危機管理監 防災器材整備や防災士資格取得の助成を行っている。

議員 多くの市民が自主防災会に参加されないと防災力強化につながらない。加入状況は。

危機管理監 加入状況は年々低下し、6割を切っている。

議員 自主防災会に加入されていない4割以上の住民の方に加入を促すことは重要である。また、洪水時の対策としてマンション等の高層建物を緊急避難所として連携を図る仕組みも必要ではないか。

市長 自主防災会への加入促進については、働きかけを続けていく。また、マンション住民と防災力強化について協議していきたい。

▶洪水時の対策が必要に

指導救命士制度の導入を

議員 本市では指導救命士制度を導入する方向で検討しているのか。また、導入するとしたら、いつごろか。

消防長 救急隊員の知識・技術の向上を図るには効果的であるため導入を進める。また、導入時期は、平成30年度から運用を開始する。

議員 指導救命士制度導入の場合の効果は。

消防長 医師の負担軽減と一貫した組織教育により救急業務の向上が図れる。

土壌汚染

下戸田地区企業跡地人体への影響は

「健康に影響はない」

高橋 秀樹 議員

議員 下戸田地区の企業跡地の土壌調査の結果、ヒ素や鉛等の化合物質が検出された。①埼玉県の指導は②ヒ素や鉛は基準値を超えており、人体への影響は③地下水の調査結果は。

環境経済部長 ①埼玉県は汚染土壌の対策を、土地所有者に指導している②汚染物質の除去等を指導しており、健康に影響ない③井戸の調査や地下水の調査結果では、基準を超える物質はない。

学校開放に伴う施設整備を

議員 学校開放で地域の方は喜んでいるが、バックネットや防球ネットの整備が不十分で、学校のガラスを壊す事故や、ボールが外部に飛び出て、近隣の民家や通行人、走行車に迷惑をかけている。①バックネットや防球ネットの整備ができないか②グラウンドの出入り口の鍵の貸し出しはできないか。

市民生活部長 ①バックネットの設置や防球ネットについては、学校施設に支障のない範囲で施設整備に努める②グラウンドの鍵は、学校の理解と利用ルールを決定すれば、団体に貸与は可能と考える。

▶喜沢小学校のバックネット

スポーツ施設の設置は

議員 下戸田地区はスポーツ施設が少ない。新設はできないか。

市民生活部長 新たにスポーツ施設を建設することは非常に厳しい。

財務部長 公共施設の総量削減が求められ、原則として新たな施設整備は行わない。

子育て支援

保育園・学童保育室の現状と対策は

「定員拡大、施設整備を進めている」

花井 伸子 議員

議員 保育園「待機児童緊急対策」並びに学童保育室の現状と対策は。①9月現在の保育園保留児童数と具体的取り組み状況は②説明会、相談体制の強化を③学童保育室の現状と来年度の入室見込みは。

こども青少年部長 ①497人である。民間保育園、9月1日から12人、10月1日から13人の定員拡大を図った。平成29年4月から新たに220人分の施設整備が図られる。その他、複数の事業者と協議中である②入所説明会の回数を増やし、丁寧に相談に応えたい③待機児童数は年度当初は45人、現在は30人。来年度に向けて需要に応じた受け皿を整える。

◀市営後谷住宅

▼市営柳原住宅

住宅支援を

議員 市営住宅の上階にお住まいの高齢者・障がい者の、下階への住み替えを認め、住み替えに際しては自己負担の軽減を。

都市整備部長 一定条件を検討して住み替えを認めたい。27年に県の明け渡し修繕負担が見直されたことにより軽減される。

新曽地域の雨水対策を

議員 豪雨による道路冠水、床下浸水が多い新曽地区の調整池、雨水対策の促進を。

都市整備部長 区画整理事業の進捗状況を鑑みて調整池の整備を行う。側溝、ボックスカルバートの整備を行うことで浸水被害の軽減が図れるので、事業の推進に努める。

指定管理者制度

図書館等への導入は市民の声を聞き判断を

「さまざまな意見が聞けるよう対応」

本田 哲 議員

議員 戸田市は、図書館・郷土博物館への指定管理者制度の導入、すなわち民間会社に運営を任せるか否かの検討を、平成26年から32年の5ヵ年で行うとしている。図書館・郷土博物館は市民の「知と文化の拠点」として市直営が望ましいと考えるが、5年間の検討スケジュールはどうなっているのか。

教育部長 平成30年、31年の2年間で設備関係の大規模改修工事を行い、工事期間中は施設を休館とする。指定管理者制度に移行する場合は、運営が再開する平成32年からが適当と考える。指定管理者制度を導入するとした場合、工事開始前に公募や選定を行う必要があるので、遅くとも平成29年度中に導入の可否について決定したい。

議員 市の一方的な判断で図書館等の運営を指定管理者に委ねることはあってはならない。市民の声をしっかりと聞き、判断すべきである。市民の声を聞くことは考えているのか。

教育部長 平成29年度の指定管理者導入の可否決定前に聞く。

議員 平成29年度中では遅過ぎる。今年度中に声を聞くべき。

教育部長 できる限り早い日程で、さまざまな意見が聞けるよう対応していきたい。

議員 戸田市としての図書館・郷土博物館の役割、存在をしっかりと考え判断するよう要望する。

▶指定管理者制度の導入が検討されている図書館・郷土博物館

東小中建て替え

通学区変更すれば済むのでは

「通学区の変更は考えていない」

望月 久晴 議員

議員 東小・東中の今後の児童生徒数と教室の利用状況は。

教育部長 6年後、東小が1288人で37教室必要となる。東中は515人で15教室必要となる。28年度と比較すると、東小は14教室、東中は3教室増加すると見込んでいる。

議員 喜沢小は6年後、8つ空き教室がある。東小と喜沢小の通学区を変更して東中の空き教室を利用すれば、建て替えをしなくても済むが、検討したのか。

教育部長 通学区の一部変更も検討したが、通学区の変更は現在のところ考えていない。

議員 健全度調査の結果は。

財務部長 コンクリートの圧縮強度や中性化試験において劣化が見られたほか、柱、はり等に多数のクラックが見られた。

議員 報告書には鉄筋の腐食は確認されていない。コンクリートの強度も大部分は基準を上回っていた。専門家も、耐震補強工事を行ったので、安全性は問題ないといっている。

財務部長 部分的には問題のないところもあったが、全体的に劣化の進行が見られたので、建て替え優先レベルが最も高い評価となった。

▲戸田東中学校校舎

議員 東小と東中の建て替えを同時に行えば、東小・東中とも校庭が4年使えなくなるが。

教育部長 関係機関と、支障を少なくするよう検討している。

一般質問

台風9号

早急な水害対策を

「浸水箇所を積極的に取り組んでいく」

金野 桃子 議員

議員 台風で各所が浸水した。早急な対策を。

上下水道部長 雨水幹線や雨水浸透施設等を整備する等、浸水箇所を積極的に取り組む。

防犯カメラの設置を

議員 広場や通学路等に防犯カメラ設置を。

市民生活部長 公共の道路の既設カメラの効果を検証し、増設は検討する。

教育部長 通学路は市の方針に従い検討する。

▶戸田市消防本部（新曽）近くの浸水状況（平成28年8月22日撮影）

人口増に伴うまちづくり、経済政策を

議員 企業撤退とマンション建設による急激な人口増や住工混在問題に有効な施策が打てていない。堅固なまちづくり、経済政策の強化、女性活躍支援を。

都市整備部長 住工混在が問題。立地適正化計画を策定し居住誘導区域等を定めることにより、一定の抑止効果が期待できる。

環境経済部長 高付加価値型産業の誘致の研究を進める。女性が柔軟に働ける仕組みづくりに取り組む。

行財政改革の推進を

議員 行財政改革の推進強化を①債権管理条例の制定を②トップランナー※方式の取り組みを③節電の効果測定を。

財務部長 ①研究する②直接影響ないが研究する③方法を研究する。

その他の質問

Q 教職員負担軽減は。

A 「チーム学校」を推進していく。

※トップランナー方式……国の基本方針に基づき、歳出効率化に向けた業務改善で他団体のモデルとなるようなものを地方交付税の算定に反映する取り組み。

学校給食費

市の一括徴収管理による納付改善を

「提案の改善策は、今後検討する」

手塚 静枝 議員

議員 学校給食費は、各学校が徴収管理などを行い、学校長が取りまとめ、市に納入している。保護者の給食費の口座振替は、学校で指定された金融機関でのみ行われている。

保護者の納付の利便性の向上と、給食費負担の公平性の確保、学校の事務の効率化や負担軽減、収納率の向上を図るため、現状の納付のあり方を改善すべく、「学校給食管理システム」を導入し、市が一括徴収管理してはどうか。

教育部長 小中学校18校、約1万2千人の納付状況を確認するため、多くの時間を要し、未納者への迅速な対応が遅れ、未納者の増加につながる恐れがある。システム構築費や専任職員の配置も必要となることから、現状の徴収がベストと考える。

提案の改善策は、今後、検討していく。

着衣水泳「浮いて待て」教室の開催を

議員 水の事故から子供たちを守るための「着衣水泳（浮いて待て）」教室を開催し、自己救助法を身につけさせてはどうか。

教育部長 全小学校でビデオや準教科書で事前学習を行い、靴・着衣状態での体験学習と、救助が来るまでの「背浮き」の指導を行っている。

消防長 消防の新たな取り組みとして「着衣泳法講習」の出前講座を加えた。危険回避を学ぶ体験学習である。市民に広く周知を図る。

▶着衣体験学習（戸田第二小学校）

そこがききたい

後見制度

成年後見支援センターを設立しては

「社会福祉協議会と協議し検討する」

馬場 栄一郎 議員

議員 高齢化社会で認知症の方が増えている中で、成年後見制度は、これらの人たちを支える重要な手段であるにもかかわらず十分に利用されていないことから、成年後見支援センター設立、市民後見人の育成を求めるが。

福祉部長 これからの高齢者数の増加や成年後見制度の専門職の負担増大は認識している。社会福祉協議会と協議し検討していきたい。

▲「ご存じですか？成年後見制度」（法務省ホームページより）

健康長寿入浴事業を見直す考えは

議員 平成27年度の事務事業評価において、今後の取り組み方針として、「市から浴場組合に支援しているが、厳しい財政状況から、受益者負担の適正化を含めて今後の見直しが必要である。周囲の状況や時期を見極めながら検討」とコメントされているが、見直しを行うのか。

福祉部長 課題及び利用実態を確認し、他市の状況を踏まえ、高齢者福祉施策の中で総合的に検討する。

ごみ分別の徹底を

議員 家庭ごみ出しで、「その他プラスチック類」はプラマークが表示されているものに限るはずなのに、異物の混入が目立つ。徹底を図るべきでは。

環境経済部長 市民に配布するパンフレットを、わかりやすい標記に変更していく。

B型肝炎ワクチン

公費助成の対象年齢を拡大しては

「戸田市独自の補助は考えていない」

三輪 なお子 議員

議員　B型肝炎ワクチンについて10月からの開始では、任意接種から移行期間に誕生した乳児について、無料で接種できる期間が短くなる。来年度に限り、1歳になっても公費助成の対象となるよう年齢を拡大してはどうか。

福祉部長　対象者は、予防接種施行令で規定されている者を予定しており、拡大は考えていない。定められた期間内に予防接種を行っていただくよう周知・支援に努める。

笹目橋上流部の堤防整備は

議員　①笹目橋の上流（早瀬2丁目地先）整備の概要と対策時期は②緊急時の対策は。

都市整備部長　①笹目橋の上流部、戸田市側堤防の高さが他の場所に比べて不足している状況。堤防を管理する国は、当該箇所の対策として、堤防の高さを満足させるため盛土などを実施する予定。笹目橋の管理者との協議が整い、予算の確保ができた後、実施②国が近傍に備蓄している大型土のうを運搬し、堤防の不足している場所に設置。市としては台風などの際に、職員や水防団員による荒川の水位監視、堤防巡視等実施するとともに、国からの情報収集をしながら災害対策に努める。

▶笹目橋上流（早瀬2丁目地先）

その他の質問

Q　家具転倒防止器具設置事業の拡充を。

A　多方面からの検証を行い、事業の拡充に向けて研究する。

地域力向上

町会加入促進・地域行事へ参加者増加を図れ

「加入率57・1％有効な方策を研究」

三浦 芳一 議員

議員　特に防災・防犯対策には、地域で眠っている人材を発掘・結集し、地域力向上のため、町会加入促進・地域行事への増加を図れ。

市民生活部長　町会加入率は現在57・1％と低下傾向。町会加入促進につながるポスターなどのツールの作成等、有効な方策を研究・検討していく。

▶市民体育祭地区大会

ごみ出しのルールの周知・徹底を

議員　特に外国人へのルール、マナー、分別の周知・徹底を図れ。

環境経済部長　新たな言語を加えたパンフレットの作成、共同住宅の管理責任者等へ注意、お願いをしていく。

薬物乱用とアルコール依存症の現状と対策は

議員　薬物中毒は人を3回殺す。最初は頭、次に心、最後に肉体。アルコール依存症も100万人と増加。どちらも家庭崩壊につながる。防止策の徹底を。

福祉部長　予防の観点から、飲酒に伴うリスクの保健指導や健康教育、ポスター掲示、パネル展示、相談体制の充実で防止を図る。

運転免許証自主返納者に対して特典を

議員　免許自主返納者に対して特典を考えるべき。tococoバス料金の半額等などどうか。

市民生活部長　近隣市の状況等も勘案し、今後、インセンティブのあり方を研究していく。

交通安全対策

自転車事故を防ぐ対策の強化を

「要望に応えられるよう実施する」

竹内 正明 議員

議員　昨年、道交法が改正され、罰則も強化されたが、現在も自転車関連事故が多い。対策は。

市民生活部長　毎年、自転車安全利用対策実施計画を策定。「毎月10日の自転車安全利用の日」を中心に、街頭啓発活動、また保育園や小中学校での交通安全教室等を実施している。

▶夏の交通事故防止運動キャンペーン

議員　市民から危険や不安を感じているとの意見が多い。交通ルールの周知や運転マナー向上の啓発、危険地帯への注意喚起看板や自転車レーンの設置など自転車事故を防ぐ安全対策の強化を。

市民生活部長　警察や市民との協働により積極的に啓発活動を展開し、道路への安全対策、交通安全に対する情報提供も行っていく。市民の要望にできる限り応えられるように対策を実施していく。

tococoバスの運行改善を

議員　①川岸循環で福祉保健センターへ②南西循環で「県営戸田公園停留所」で折り返した後に戸田公園駅へ。以上のルートの整備をしてほしいとの意見がある。対応は可能か。

市民生活部長　実現性について検討していく。

市内3駅にホームドアの設置を

議員　安全対策のため再度JRにホームドアの設置を要望すべき。

市民生活部長　今後も継続して要望していく。

健康長寿

埼玉モデル新規参加の事業概要は

「従来の手法を継続する」

石川 清明 議員

議員　健康長寿埼玉モデル新規参加の事業概要は。

福祉部長　4つの生活習慣改善、体重の記録及び一日一万歩の達成状況に応じてポイントをため賞品を獲得するという、従来の手法を継続する。実施期間中には筋力トレーニングや食生活習慣改善に向けた教室を開催し、参加者が取り組みを継続できるよう支援する。期間は6カ月、参加人数は300人を想定。

議員　募集と周知は。

福祉部長　市広報、市ホームページに事業内容や申し込みに関する記事を掲載、町会の掲示板、公共施設、一部の金融機関等に、ポスターやのぼり旗などを設置し、広く市民に情報発信した。

議員　課題と目標は。

福祉部長　働き盛りの若い世代の健康に対する関心や取り組みが十分でなく、生活習慣による疾病が増加している。目標は、若い世代の参加を増やし、多くの市民に、この事業をきっかけに自分の生活を振り返り、良い生活習慣を継続できるよう支援する。

その他の質問

Q　携帯版「心肺蘇生の手引」を作成してはどうか。

A　今後、記載内容について検討した上、実施に向け、取り組みたい。

▶リズム体操発表会（主催：社会福祉協議会）

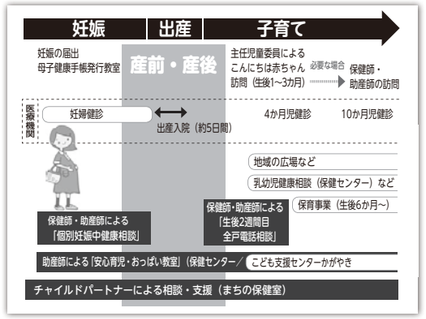
戸田市版ネウボラ

妊娠活動から子育てまで支援する場の設置を

「子育て相談ルームで充実を図る」

遠藤 英樹 議員

議員 7年にわたる不妊治療の結果、長男を授かった。その経験から、本市で妊活支援をしてほしいと考えるがどうか。子育て支援まで通じる場所として、フィンランドのネウボラを参考に、妊活から支援する戸田市版ネウボラ設置の見解は。



▶名張版ネウボラ（三重県名張市「広報なばり」より）

※出産～乳幼児期

福祉部長 国や他市町村の動向についても注視しながら、「子育て相談ルーム」を戸田市版ネウボラとして、子育て支援の充実を図っていきたいと考える。

議員 日本では妊娠や不妊治療の正しい知識が理解されていない。啓発に努めるべきと考えるがどうか。

福祉部長 成人式での冊子の配布や、がん検診の受診勧奨通知での情報提供を行っているが、拡充していく。

議員 不妊治療費助成制度において、対象となる治療を医療技術の進歩とともに拡大するべきと考えるがどうか。

福祉部長 標準的な治療となったものについては検討していく。

議員 少子化という社会的課題の解決、そして子供を持つという男女共通の幸福の実現のために、日本人は結婚や家族と正面から向き合い、女性のキャリアパスを支援するべき。妊活から支援する戸田市版ネウボラは、男女の多様な生き方を認めていく中で、課せられた厳しい現実を乗り越えるために必要と考える。導入を検討してほしい。

一般質問

上戸田川整備

水量確保のための方策はあるか

「工業用水や見沼代用水などがある」

中山 祐介 議員

議員 上戸田川整備事業の目的は。

都市整備部長 治水のほか、景観や自然環境にも配慮した河川整備を実施し、あわせて、親しみやすい水辺環境の創出を図っていく。

議員 今後、下水道が整備された上戸田川はどのような状態になることが予想されるか。

都市整備部長 上戸田川の水源は、流域から流入する雨水のほかに、浄化槽の処理水や生活雑排水である。下水道を整備すると流量は減少すると思われる。

議員 現在でも流量は毎秒20リットルと少なく、親水公園が整備される場所の水質はほぼ排水の水質であり、水は濁っていて非常に臭い。解決するための水量確保の方策は。

都市整備部長 工業用水や見沼代用水の活用などがある。親水空間としての魅力をより豊かなものとするため、治水を第一義とする上戸田川に合った水源確保の方策を、今後、調査研究していきたい。

▲新曽第二土地区画整理事業地区内を流れる上戸田川

その他の質問

Q 重要な情報を、情報通信技術を使用せずに盗み出すソーシャル・エンジニアリングへの対策と課題は。

A 物理的対策、人的対策を既に進めている。隙を突かれない対策の徹底が重要課題であり、職員等の知識・意識をさらに向上させていく。

※ネウボラ……フィンランド語で“ネウボ＝アドバイス”、“ラ＝場所”という意味で、妊娠から出産、子供が生まれた後も基本的には６歳まで切れ目なくサポートを提供する総合的な支援サービスを行う施設のこと。

プログラミング教育

小中一貫カリキュラムを作成しては

「独自の一貫カリキュラムを検討」

真木 大輔 議員

議員 必修化が検討されているプログラミング教育に関し、全国に先駆けて小中一貫カリキュラムを作成しては。

教育部長 本市独自の小中一貫したプログラミング教育のカリキュラム作りについて検討する。

戸田音頭の動画公開を

議員 市民が戸田音頭を踊る光景を録画し、ネットで公開しては。

市民生活部長 とだ50祭での流し踊りの録画・配信を検討する。

自転車レーン開通に合わせたパレードを

議員 ①市役所南通りの自転車レーン開通に合わせ、啓発パレードの実施を②自転車レーン上の駐停車対策を。

市民生活部長 ①交通規制を伴う街頭パレードは困難だが、啓発キャンペーンは実施する。

都市整備部長 ②路上駐車抑制の周知啓発を行う他、※ポストコーン設置は状況を見て検討。

福祉センター等に子育て総合拠点を

議員 ①福祉センターに小中学生や子育て世代の居場所を②「※子育て相談ルーム」を福祉センターや駅前行政センターに設置し、地域の子育て総合拠点（戸田市版ネウボラ）に。

福祉部長 ①2020年度を目標に、多世代に向けた地域の交流拠点としての見直しを図る②解決すべき課題は多いが、市内での設置拡大について検討する。

▶サイエンスフェスティバル2016で開催されたプログラミング体験教室の様子（提供：Code for TODA）

こどもがききたい

美里町議会との交流会を実施

議員互助会では、7月27日、姉妹都市提携をして今年で25年目を迎える美里町との議員交流会を、美里町で開催しました。

梅雨明け前ではありましたが、当日は雨に降られることなくブルーベリー狩り、遺跡の森館の視察、キムチ作り体験教室の開催、意見交換会の実施と、さまざまなイベントが行われ、両市町の現状や課題について意見交換を行うなど、大変有意義な交流会となりました。

▲キムチ作り体験教室

第25回 全国市町村交流レガッタ戸田大会

戸田市で開催された大会で、議会クルーが見事入賞！！

９月17日、18日の２日間にわたり、戸田ボートコースにおいて全国市町村交流レガッタ戸田大会が開催され、多くの市民クルーが参加される中、戸田市議会は「サクラソウ」と「モクセイ」の２クルーが参加しました。

「モクセイ」は残念ながら敗退しましたが、「サクラソウ」は決勝戦に進出し、見事５位入賞を飾り、開催市として、『ボートのまち戸田』をアピールすることができました。

▲決勝戦で力漕する「サクラソウ」（奥側）

※ ポストコーン設置……駐停車の多い自転車レーンと車道との境界上にゴム製のポールを立てることで、駐停車を抑止する方法。
※ 子育て相談ルーム……本年４月に福祉保健センターに設置された、妊娠期から子育て期までのワンストップ相談・支援施設。

委員会視察レポート

閉会中に実施した視察について、8月25日の本会議冒頭に各委員長から報告がありました。その概要は次のとおりです。

総務委員会

福岡県行橋市／福岡県福岡市

来庁者にとってわかりやすい案内表示

行橋市では、できる範囲での総合窓口に取り組んでおり、住民異動に関係する手続きを、可能な限り1つの部署に集約していました。また、総合案内を目立つ場所に設置し、案内表示も、課名ではなく、業務内容を表示するなど、来庁者をスムーズに案内できるよう工夫していました。

福岡市では、平成24年に市役所1階をリニューアルし、既存の証明サービスコーナーや情報プラザのほか、ユニバーサルカフェや電子掲示板であるデジタルサイネージを設置し、民間等に貸し出すことで、使用料収入や広告料収入を得ていました。

【検証の結果】

行橋市は、業務内容の表記など、わかりやすい案内となるよう工夫している点が、福岡市は、庁舎を使って収益を上げている点が参考になりました。

▶8月9日　行橋市役所にて

交通対策特別委員会

岐阜県岐阜市／愛知県豊田市

コミュニティバスの維持・改善に向けた取り組み

岐阜市では、中心部におけるBRT※の導入や、周辺部における地域住民が主体的に運営するコミュニティバスの運行により、安定した輸送を確保していました。また、運賃の支払いに使われるICカードから得られた利用実績を活用し、運行系統やダイヤの見直し等を実施していました。

豊田市では、住民主体によるコミュニティバスの企画・運営を行っているほか、バス停のネーミングライツや、乗客の利便性向上につながる取り組みとして、コミュニティバスと民間の路線バスの全てのバス停の時刻表が掲載されたガイドブックの作成などを行っていました。

【検証の結果】

両市とも、持続可能な公共交通の仕組みとして、住民主体によるコミュニティバスの運営、運行改善のための評価制度を導入している点が参考になりました。

▶7月13日　豊田市議会議場にて

※ ＢＲＴ……専用バスレーンを設けて、連節バスを運行させることによって大量輸送を可能にする次世代バスシステム

議会改革特別委員会

大阪府堺市／大阪府泉大津市

市民に議会傍聴を呼びかける取り組みを実践

堺市議会では、児童・乳幼児を連れた傍聴人向けに「親子室」を設置し、安心して安全に傍聴できる環境整備や、一般質問においても、議案への質問がしやすい日程を組むなど、議会改革全般の取り組みを行っておりました。

泉大津市議会では、より多くの市民に議会に対する関心を持ってもらえるよう、全議員が駅やスーパー等で議会傍聴を呼びかける「議会傍聴よびかけ隊」の取り組みを続けておりました。

【検証の結果】

議会改革度調査において、政令指定都市の中で2年連続1位を獲得している堺市議会の取り組みから、本市でも有効な取り組みを協議検討してみてはどうかという意見や、「議会傍聴よびかけ隊」は、議会が主体となり、議会を市民にPRする働きもあることから、取り組んでみてはという意見などが出されました。

▶7月14日　泉大津市議会議場にて

健康福祉委員会

神奈川県横浜市

待機児童ゼロ水準を維持するための取り組み

横浜市は、待機児童解消のための緊急対策を実施し、待機児童ゼロを達成しておりました。また、駅周辺の保育所から各児童が通園する保育所への、朝夕の送迎を保護者に代わって行う「送迎保育ステーション事業」を実施しておりました。

【検証の結果】

待機児童ゼロ水準の維持に取り組んでおり、民設民営による保育所整備を促す手法などは、本市でも検討してはどうかという意見がありました。

▶7月19日　横浜市役所にて

議会だよりへご意見を

今後の紙面づくりに生かすため、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

※宛先は、20ページの欄外に記載してあります。

健康福祉委員会

蕨戸田市医師会との議会懇談会を開催！

去る7月15日に、蕨戸田市医師会との懇談会を開催しました。

適正な医療機関受診と投薬治療による医療費の適正化、在宅みとりなど、市内の医療の現状についてのお話をお伺いしました。

また、地域包括ケアシステムの構築に当たり市に移管される「蕨戸田市在宅医療支援センター」を機能させるための意見を交わし、地域医療に対する見識を深めました。

議会日誌

7月

11日　戸田競艇組合議会／議会広報委員会
12日　山形県上山市議会視察来庁／県議長会役員会
12日～13日　交通対策特別委員会視察
13日　滋賀県近江八幡市議会視察来庁
13日～14日　議会改革特別委員会視察
15日　蕨戸田市医師会との懇談会（健康福祉委員会）／健康福祉委員会
19日　県南都市問題協議会環境問題研究部会正副部会長会議／健康福祉委員会視察／兵庫県姫路市議会視察来庁
20日　議会広報委員会／議会改革特別委員会
21日　川口市議会視察来庁
22日　常任委員会（総務／文教・建設／市民生活）／三芳町議会視察来庁
27日　美里町議会との友好交流事業
28日　健康福祉委員会市内視察
29日　市議会知っ toco ツアー実施

8月

1日　戸田競艇組合議会議会運営委員会
2日　議会モニターとの意見交換会
4日～5日　戸田競艇組合議会議会運営委員会視察
8日　議会改革特別委員会／岐阜県海津市議会視察来庁／蕨市議会視察来庁
9日～10日　一区議長会行政視察／総務委員会視察
10日　静岡県藤枝市議会視察来庁
17日　静岡県沼津市議会視察来庁／蕨戸田衛生センター組合議会議会運営委員会
18日　交通対策特別委員会／議会運営委員会／常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）
23日～24日　戸田競艇組合議会常任委員会視察
25日　本会議（議案説明）／議会運営委員会／議会広報委員会
26日　蕨戸田衛生センター組合議会
31日　県南都市問題協議会危機管理問題研究部会正副部会長会議

9月

1日　本会議（議案質疑）／委員長会議／議会運営委員会／議会広報委員会
2日　本会議（一般質問）／総務委員会
5日　本会議（一般質問）
6日　本会議（一般質問）
7日　本会議（一般質問）／議会運営委員会
8日～9日　常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）
12日　常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）
13日　常任委員会（総務／健康福祉／市民生活）
14日　特別委員会（交通対策／議会改革）／議会運営委員会／全員協議会
17日～18日　第25回全国市町村交流レガッタ戸田大会
23日　議会運営委員会
27日　本会議（委員長報告、討論、採決等）／議会運営委員会／議会広報委員会

題字を書いてくれた人

私は、戸田市は、みんな優しく、思いやりのあふれた場所だと思います。その思いを込め「とだ」を書きました。「と」のバランスが難しかったですが、納得のいく字を書けてよかったです。

喜沢小学校　6年　渡邊（わたなべ） 彩夏（あやか）さん

知っtocoクイズ当選者

6月定例会号「知っ toco クイズ（No. 5）」の正解は、問1「委員長報告」、問2「33」でした。

正解者20人の中から抽選の結果、次の方にクオカードを贈りました。

- 中田ツイ子さん
- 佐藤直子さん
- 渋谷星さん
- 山崎裕一郎さん
- 山崎煌芽さん

おめでとうございます。

12月定例会の予定

※ 日程は変更になる場合があります。

11月22日（火）	本会議（議案説明）
30日（水）	本会議（質疑）
12月 1日（木）	本会議（一般質問）
2日（金）	本会議（一般質問）
5日（月）	本会議（一般質問）
6日（火）	本会議（一般質問）
7日（水）	常任委員会
8日（木）	特別委員会
15日（木）	本会議（討論・採決）

気軽に市役所へ傍聴においでください。

ほっとコーナー

揺れている秋桜を見ると、なぜか山口百恵の歌う姿が脳裏に浮かぶ。♪ありがとうの言葉をかみしめながら生きてみます私なりに♪父親の七回忌が終わり、今あるのは親があってのこと。感謝。（馬）

今年も昨年に引き続き異常気象により、北から南と全国各地で甚大な被害が起こってしまった。一日も早く普段の生活に戻られることをお祈り申し上げます。そして、何が起きてもおかしくないと、備えあれば憂いなし……。（細）

熱く応援したリオから「東京」へ。海の森水上競技場から戸田の彩湖へ。都知事が代わり、風向きが変わりました。4年間は、すぐ来ます（実感！）、招致に向け、頑張る時。ボートのメッカは戸田に決まってるのだ！（良）

9月17・18日で行われた第25回全国市町村交流レガッタ戸田大会。市議会クルー「サクラソウ」の一員として参加。大声援のもとチーム一丸となって5位入賞。年明けからの練習の成果が出ました。（哲）

赤ちゃんをだっこしたパパや、ベビーカーを押したママたち、どこを歩いていても出会う戸田市の風景です。少子化はどこの国？「とだ50祭」も終わり、この子たちの時代も平和で戦争のない日本であり続けるために頑張ります。（花）

（掲載した写真を差し上げます。詳しくは議会事務局まで）
本紙は環境に配慮し、再生紙と「大豆油インキ」を使用しています。

戸田市
発行・戸田市議会　編集・議会広報委員会
TEL 048-441-1800（代）FAX 048-433-2212
〒335-8588　戸田市上戸田1丁目18番1号
メール　gikaijimu@city.toda.saitama.jp
ホームページ　http://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/
表紙写真撮影：議会事務局